

阿 佐 ヶ 谷 中 学 校

学べる 出合える 楽しめる 学校図書館

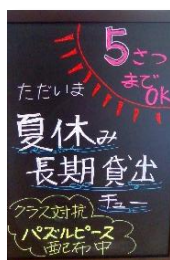
今の学校図書館

休み時間に来館し本を読んだり、学習課題に取り組んだり、イベントに参加したりする生徒が増えてきている。カウンター周りや窓際のベンチコーナーは人気のエリアである。

国語、社会、理科、家庭科の授業では、課題設定や情報収集に使われることが多く、学びの場でもある。

学校図書館の運営

- ・学習情報センターとして教科学習での利用を促進し、情報活用能力を育て、自ら課題を解決する生徒を育成している。あらゆる分野に対応できる蔵書の構築を進め、図書資料以外の資料や Web 上のデータベースの活用も促進している。
- ・読書センターとして、朝読書の時間を通して読書習慣を定着させるため、読書用図書を提供している。
- ・図書委員会では、イベントの企画実施により自主的な活動を促し、生徒の図書館利用に繋げている。
- ・図書館だよりを発行し、イベントや本の情報を発信している。教員に図書館活動の情報を発信し、利活用に繋げるとともに課題を共有している。



1 年間の主な活動

- ・1年生へのガイダンス
- ・朝読書での学級文庫の提供
- ・季節や行事、社会情勢に対応した展示
- ・授業での資料・情報提供、利用指導、レファレンス対応
- ・図書委員会活動 (POP や放送での本の紹介、学級文庫管理、イベントの企画・運営、貸出・館内整理)
- ・図書だよりの発行 (生徒用、教職員用)
- ・公共図書館との連携 (生徒制作絵本の展示)

特色ある取組

○「地形図のある学校図書館の創設」プロジェクトへの参加による地形図の活用



休み時間に地形図で調べる生徒

○新聞の活用

- ・社会の授業への活用 (ニュースパークから取り寄せた新聞で、読み比べ)
- ・図書館での展示



○オンラインデータベース

時事ニュースを新聞で掲示

(ジャパンナレッジ school トライアル) の提供

○読書意欲を喚起する図書委員会活動

「先生の読み藁」



「おでかけ図書館」



学級文庫の管理運営



スタンプカードの導入 (借りるとポイントがたまる)

これからの学校図書館

授業、特別活動や部活動と連携を図り、様々な場面で利用され、生徒や教職員に愛される図書館を目指す。

紙とデジタルの両方を含めた情報へのアクセスを保証する図書館を構築する。

国語や朝読書に積極的に関わり、視野を広げ自ら読書する生徒を育てる。